

## 小室川谷 沢登り山行報告

【日 時】8/10(土) 晴れのち雨のち曇り ~11(日) 曇り

【山 域】大菩薩

【参加者】CL 柘植(記録)、SL 澤田路、園田、小宮山



### 【内容】

柘植はかなり前に一度小室川谷行っている。そのときは小室川谷の出合から遡行し、4段 30m 滝の上から左岸の巡視路にエスケープして日帰りで戻るプランであったが、水量が多く、遡行に時間がかかって中ノ沢から巡視路にエスケープしてしまった。中ノ沢は小室川谷全体の真ん中あたりであり、上部は未踏となってしまうため、長いあいだ気になっていた。もう一度チャレンジするにしても出合からの再遡行はもう体力的にきついので、行くなら中ノ沢から上部と決めていた。8/10~12 の3連休は天気がよろしくないため、予定していた2泊の沢旅は中止にして、懸案であった小室川谷上半部にチャレンジすることにした、

8/10(土) 千葉朝発⇒奥多摩⇒三条新橋(駐車)9:00→(車道~巡視路)12:10 中ノ沢横断地点  
12:30→(中ノ沢下降)12:50 小室川谷→13:00 幕場

三条新橋は多摩川に架かる橋で、渡ったところに駐車場があるのだが、もうすっかり忘れていたため青梅街道沿いにある小さな駐車スペースにクルマを停めて出発する。最初の車道区間(ゲートがあるので一般車は入れない)は 20 分くらいで、すぐに小室向の標識が立つ泉水谷下降点に着く。そのまま泉水谷に下降すると、立派な木橋があり、このすぐ下が小室川谷の出合だ。本日は下部の遡行はパスするので、左岸につけられている巡視路に行く。昔は歩きやすい道だった記憶があるが、現在は途中が崩れてしまって大高巻があったり、全体として結構荒れてきている印象だ。しかも天気がよく気温が高いので汗だく、メンバーからのなんとなく非難めいた眼差しが痛い。2 時間半くらい歩いてようやく中ノ沢の横断地点に着くが、このころから天気が崩れはじめ、雷が鳴り出す。

中ノ沢を下りきって小室川谷出合ったころ雨がパラパラ降り始める。少し歩くが雨脚が結構強くなってきたので、適当なスペースで雨宿り。今回はテント本体は持参せずに、ポールとフライだけを持参してきているので、ドーム型のツエルトを張っているようなものだ。1時間くらいジッとしていたら雨も止んだ。まだ2時すぎなので少し歩かない？という意見もあったが、一旦腰をおちつけてしまうとどうも今から歩く気がせず、早々とここをねぐらにすることにした。といってもまだ日没までずいぶん時間があるので、澤田路さんは上流へ釣りに、残りの3人は薪を集めて焚火にトライ。ただ湿った木になかなか火がつかずに四苦八苦しているところへ路子さんが釣果を持って凱旋。我々が苦勞しているのを見て、木の組み方やうちわの扇ぎ方を改善指導してくれると、あら不思議、立派な焚火になりました。



小室川谷に入溪



いきなりの雨で雨宿り



小一時間ほどで雨はやむ



焚き火にチャレンジ

8/10(土) 幕場 6:15→雨乞滝 7:15→4段 30m滝上 7:45→2段 18m美瀑 8:40→蛇抜沢出合  
→フルコンパ窪出合→フルコンパ小屋跡 11:30→大菩薩峠(介山荘)→福ちゃん荘→  
上日川峠⇒(タクシー) 三条新橋⇒もえぎの湯(入浴)⇒東京亭(夕食)⇒千葉

予定よりもかなり下に泊まってしまったので、気合を入れて6時すぎに出発。1時間ほど小滝を越えて遡行していくと写真で見覚えのある雨乞滝に到着。ここは右岸を簡単に巻けるとあったが、踏

み跡はそれほど明瞭ではなく、なんとなく適当に歩くと巻き終わるという感じ。そしてここを過ぎると眼前に小室川谷の白眉といわれる4段30m滝が姿を現す。天気がよかったらどんなに素晴らしいかと思うが、どんよりとした天候の中でもなかなか見ごたえのある滝だ。ルートが頭に入っているので、特に問題なく最上部に出る。4段目はやや傾斜も強く、黒い又ル又ル苔で滑らずに登るのはまず不可能という感じ。ここだけ持参のロープを使用する。



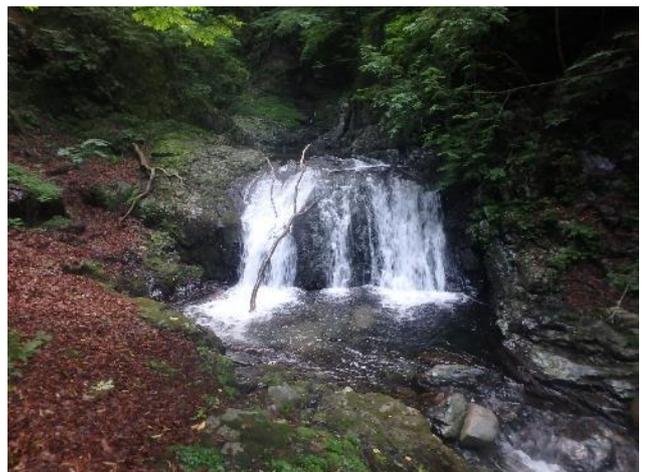
元気に出発



下部のゴルジュ帯に突入



小滝をへつる



こんな感じの小滝が続く



左の細流を登る



上から見たところ



雨乞滝



巻きの途中から見る雨乞滝



小室川谷を代表する4段 30m滝



中段から眺める3段目と4段目



最後の4段目の落ち口を登る小宮山さん



我々が昨日たどった巡視路の上部がここで横断

見ごたえ登りごたえのある滝が続いてきたが、巡視路が横断するあたりはしばらくはおとなしい溪相が続く。このまま終わってしまうのかと思うところにまた適度な小滝が出始め、小室川谷のENDを飾るといっても過言でない2段18m滝が登場。直登は困難だが、2段とも左岸を小さく巻いて登れる。そこから先は見るべき滝もなくなり、どんどん進むと蛇抜沢との二俣に到着。当初の計画では本流を進んで稜線に出てから、大菩薩嶺～丸川峠と歩き、泉水谷林道をたどって三条新橋に戻

る周回計画であったが、今からだと戻りは 17 時くらいになってしまい、風呂が危うい。また長い林道・車道歩きはもう避けたいという意見が多いので、予備として頭に入れておいたフルコンパ窪を登ってフルコンパ小屋跡に出るコースに変更する。フルコンパ窪出合から 1 時間ちょっと頑張ると見覚えのあるフルコンパ小屋跡に着いた。ここからは一般登山道を 50 分ほどでハイカーで賑わう大菩薩峠に着いた。介山荘のコーラやかき氷は下界とたいして変わらない値段なので、みんな大満足。あとはブラブラハイキングで上日川峠まで歩き、途中予約したタクシーで三条新橋に戻った。



さらに滝が続く



まだまだ続く



最後の 2 段 18m 美瀑



フルコンパ小屋跡に詰めあがる

小室川谷は初日に出鼻をくじかれてしまったが、二日目は期待を裏切らない溪相であった。もっと天気がよかったら、あるいは紅葉がきれいだったら……とか思うが、贅沢を言い出したらキリがない。途中から入渓とややアブノーマルな形態であったが、お付き合いしていただいた参加者のみなさんどうもありがとうございました。

記録担当：柘植 秀樹